

へいあっぷ環境レポート

緑のカーテン応援隊活動報告

芝浦港南地区総合支所の東面外壁の一部に、緑のカーテンを育てる活動を行っています。

昨年度、初めて行い見事な緑のカーテンができ、「見ているだけで涼しい」と大好評でした。今年も、「緑のカーテン応援隊」を募集し、応募して下さった区民の皆さんと一緒に、4月30日に土づくりを行い、5月13日にはゴーヤとアサガオの苗植えを行いました。現在は「緑のカーテン応援隊」の皆さんや芝浦港南地区総合支所・消費者センター・男女平等参画センターの職員が順番に水をやり、そのかいあって、少しずつ成長しています。

また、「緑のカーテン応援隊」の皆さんには、昨年度に実ったゴーヤから取った種を渡し、自宅で緑のカーテンづくりに挑戦してもらっています。

さらに今年度は、港区スポーツセンターでも緑のカーテンを実施します。芝浦港南地区管内に、緑が増えるといいですね。

緑のカーテン応援隊を募集します! 電話またはFAXで、住所・氏名・電話番号をお知らせください。
 対象者: 芝浦港南地区管内(芝浦・海岸2~3丁目・港南・台場)に在住、在勤、在学の方
 活動予定期間: 平成21年5月~9月ごろまで 募集期間: 随時募集
 申込み・問い合わせ先: 芝浦港南地区総合支所 協働推進課 地区政策係
 電話: 6400-0013 FAX: 3452-4902



今年も緑のカーテンがんばるぞー!



今回は苗植え初体験の方も



ゴーヤとアサガオの苗

エコレンジャー・活動開始!



魚がたくさん!早くバケツに入れて



魚の名前、分かるかな?



アマモと一緒に児童館の水槽へ

力をあわせて地引網を引っこよう!



今年も台場児童館では、エコレンジャーの活動が始まりました。港陽小学校の振替休日だった6月8日は、お台場海浜公園の砂浜で地引網をして干潟の生き物の観察をしました。10mほどの距離を皆で引っ張った地引網の中には、ピチピチ跳ねる小魚がたくさん。ハゼの仲間やボラ、エビもいました。皆で観察した後は少しだけ児童館の水槽で飼うことにして、残りは海に返しました。

お台場の海にも、びっぴりするほどたくさんの魚や貝がすんでいます。もっときれいな海になるように、みんなで考えてみませんか。

連載コラム それぞれの地域デビュー

4月、真新しい制服の園児や黄色の帽子の一年生たちは、親子ともに新たなスタートに不安げな、地域デビュー。ついに間まで日焼け顔で登校していた若人も、リクルートスーツに身をつつみ、さっそうと社会人デビュー。それは毎年繰り返される光景ですが、なぜかいつも新鮮な春の風物詩です。子育ても終え、仕事もリタイヤし生きがいを感じてボランティアを志す、それもこれも新たな地域デビュー。

新緑が日に日に鮮やかさを増す今日このごろ、不安げだった子どもたちや若人もいつの間にかまに溶け込み、また、何事もなく時が流れていきます。あのまちこのまち、どのまちにも特色があります。いまだに日々変化し発展する芝浦・海岸・港南・台場地域、豊かな水資源に恵まれたこの地区、それぞれがどんな顔を持つまちになっていくのでしょうか。



安全で美しい地区を目指して

芝浦港南地区安全・美化協議会は、5月18日に港南地域で平成21年度第1回目のキャンペーンを実施しました。キャンペーンには、地元町会、自治会や周辺



みなとタバコロールキャンペーンの様子



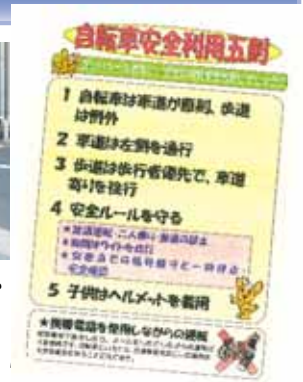
放置自転車への警告札はり付け

企業、各種団体等60名を超える方のご参加をいただきました。数多くの方々のご協力のもと、大変盛況に無事、実施することができました。皆様ありがとうございました。

参加者は、4つの班に分かれて活動しました。港南3・4丁目周辺では高輪警察署の協力のもと、歩道上の放置自転車への警告札はり付けや自転車利用におけるマナー向上の呼びかけを行いました。

港南2丁目周辺では防犯パトロールを実施し、最近増加傾向にあるひったくり等への注意を呼びかけ、品川駅港南口周辺ではタバコロールキャンペーンとして、駅利用者の方々に歩行喫煙およびポイ捨ての防止を訴えました。

問い合わせ先: 芝浦港南地区安全・美化協議会事務局 協働推進課活動推進係 電話: 6400-0031



リユース食器でエコに配慮!

5月23日、区立有栖川宮記念公園で、エコライフ・フェアが行われました。このイベントに、芝浦海岸町会・商店会連絡協議会と芝浦港南地区総合支所も参加しました。芝浦・海岸の運河沿いに自生している夏みかんをマーレードにして作った「夏みかんアイス」と、焼きそばとフランクフルトを販売しました。この日は暑かったため、夏みかんアイスは早々に完売。焼きそばとフランクフルトも大好評でした。

焼きそばとフランクフルトの販売に使われたお皿は、「リユース(再利用)食器」。食べた後は、その食器を濡れタオルで汚れを拭き取ってもらい、戻してもらいます。リユース食器返却に協力していただいた方には、100円をお返ししていました。お祭りでは定番の、紙やプラスチック食器等を使うより断然エコですね。



食器の汚れを拭きとって、お皿を戻します



リサイクル?おもしろい再生野菜!

3月、使い忘れてシワシワになった薄紫色の芽が出ている1個のジャガイモを捨てたく、半分切って空いている鉢に植えました。5月末、アジサイの横で青々と葉が茂り、改めて植物の生命力に驚かされました。葉が枯れたころ、土の中から中小サイズのジャガイモが連なって出てくる楽しさは、子どもに人気のイモ掘りに似ています。昨今、ベランダでの野菜づくりが人気でジャガイモづくり用の袋も販売されていますが、60センチ程度の深さがあれば10kg入りの米袋でもプラスチックのクズカゴでも代用できます。目に見えて育つトマト等も楽しい。土のようですが、収穫まで目に見えない根菜もお勧めです。

根付きで販売されているセリや三つ葉、万能ネギ等は、窓際やテーブルでの水栽培もでき、薬味や料理の彩りに、少量だから無駄がなく重宝します。ゼロ円でエコ、目にも優しく心まで豊かになる根菜はおもしろさも格別。芽の出たしなびれジャガイモを見つけたら、一度試してみませんか。



おもしろいジャガイモの葉

ジャガイモの花言葉「恩恵」